

豆狸の寝言

副会長 三原幸二

- 先達で、動物写真家の講演を聴く機会があった。

「アフリカ・ポレポレ」－野生動物から学ぶ子育て－という演題である。

- 我々は赤道直下の国ケニアは酷暑というイメージを持っているが、実は国土の大半が海拔 1,000 メートル以上の高地で、大気は清々しく快適で爽やかな気候だそう。ところが、町から 30 分も車を走らせると、そこには何も無い大草原が広がっている。家庭には暖房器具はあっても冷房はないそう。マサイの人達は平均 5～6 人の子供を産む。子供たちは村全体の宝であり、兄弟が多ければ多いほど年長の子が年少の子たちの面倒をよくみ、子供同士仲良くすることによって、我慢する、協力する、といったことを自然に学んでいくのである。

- また、子供たちの側には両親のほかには祖父母や近所の大人たちが常に居て、してはいけない事は自分の子であるなしに関わらず、きちんと注意する。

過酷な大自然が待ち構えているアフリカでは、野生動物も仲間、家族とはお互いに助け合って身を守る。

- テレビ等でよく見る草食動物の大移動も、その地域の草を食べ尽くす前に何ヶ月もかけて次の地へ移動する。そして、いくら腹が減って



いても根までは食べない。こういった工夫により、よほどの事が無い限り、行ったり来たりすることにより常に豊富で新鮮な草を食べることができることを本能的に実行している様である。

学ぶべきことかなと思う。

- 「ポレポレ」というのは、スワヒリ語で「ゆっくり」、「のんびり」という意味で、慌てると転んだり失敗したりするかもしれない。だから、ゆっくり、落ち着いて行動しなくてはダメだよ、と。

ケニアではよく使われている言葉だそうだ。

- 只今の代電材の市況はある意味アフリカの大自然の厳しさ以上かもしれない。そうした時こそ、ゆっくりと物事をかみしめてやる必要性があるのではなかろうかと、終演の拍手の中、心に強く思った次第である。

(ポレポレ) 2003 年執筆